

一部事務組合報告

町の事業を他の市町と共同して行う事業です。

坂戸地区衛生組合

10月27日に、入間東部地区衛生組合と、坂戸の石井水処理センターの2か所を視察研修しました。入間東部地区衛生組合の構成市町は、富士見市、ふじみ野市、三芳町で、昭和60年度に、処理能力1日184キロリットルの施設として供用開始。その後、処理量の減少に伴い、平成18年度に処理能力1日39キロリットルを下水道へ放流する方式に改造しました。臭気処理は酸洗浄、アルカリ洗浄、活性炭吸着が行われ、臭気を感じることはありませんでした。

(小川)

埼玉西部環境保全組合

10月30日新潟市新田清掃センター、31日長岡市寿クリーンセンターの視察研修を行いました。

新田清掃センターは、市が資金を負担し、設計建設、運営は特別目的会社が行い、24年4月から稼動しています。

余熱利用設備として蒸気タービン発電機があり、高効率発電を行い、隣接



新田清掃センター
(新潟市ホームページより)

バイオガス装置
寿クリーンセンター(長岡市)



施設へ蒸気を供給した上で多くの余剰電力を場外へ供給しています。寿クリーンセンターは自治体の生ごみ処理施設では国内最大規模であり、市内全域から収集した生ごみをメタン発酵処理し、発生するバイオガスにより発電を行うとともに発酵残渣も全量を有効利用する先進的な施設です。両施設ともごみの減量に真剣に取り組み、住民の理解と協力によって、より良い運営がなされています。

(中山)

西入間広域消防組合

平成26年第2回西入間広域消防組合議会定例会が9月29日に開催されました。

提出された議案は、平成26年度一般会計補正予算(第2号)と、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定についての2議案で、慎重審議のうえ可決認定されました。

本決算中における町内のおもな事業は、赤沼地内に耐震性貯水槽新設工事で期日内に完了しています。

(松浪)

広域静苑組合

平成26年第2回広域静苑組合議会が開催されました。議案は一般会計補正予算の1件で慎重審議の結果、可決されました。

また、群馬県前橋市斎場を視察しました。視察目的は、広域静苑組合に坂戸市が加入するため、斎場増改築工事の参考にするためです。

(小峰)

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

11月11日、東京都下水道局森ヶ崎水再生センター(大田区)と、同じく東京都下水道局「虹の下水道館」(江東区)の視察研修を行いました。

森ヶ崎水再生センターは、国内最大規模の下水処理施設で154万キロリットル/日の処理能力(当下水道組合の約60倍の処理能力)をもっています。

この水処理に加え、汚泥から出るメタンガスを利用した「バイオマス発電」(能力3200kw)と処理水の一部を利用した「小水力発電」(能力100kw)を行っています。

そのほかにも、ナトリウム硫酸電池による夜間電力の蓄電装置を備えており、エネルギーの再生・有効利用に力を入れています。

なお、CO₂削減量は、バイオマス発電で年間約7500トン、小水力発電で約3000トンになります。



落差2メートルの水力発電機

「虹の下水道館」は東京湾埋立地の有明地区にある下水道PR館で、学校社会科見学向けの施設です。この建物の地下に東京都下水道局の有明水再生センターがあります。有明地区の下水のみを、分流式で処理しています。放流水の水質はかなり良好で、処理方式に※A₂O法と砂ろ過にかえて生物膜ろ過法を取り入れているそうです。

(松田)

※窒素・りん除去を目的とした高度処理法の一つで特に窒素を効率よく除去できる方法